



## 中国の YLE 採用校（語学学校）の先生から頂いた フィードバック

（日本語訳）

“領冠教育(トップ教育)”は湖南省「ケンブリッジ・ヤングラーナーズ英語」の指定試験場及び養成機関としてオープンして以来、半年あまり、ケンブリッジのヤングラーナーズ用英語教育とそのテストシステムを実践し、現場の担当者として、私は仲間たちと一緒に、ケンブリッジ・ヤングラーナーズ英語がいかにか、子供たちの英語勉強、特に学校における英語勉強のレベルアップの手助けになったかをこの目で見てきた。

ケンブリッジ英語の教育システムは thinking skill(考える力)をより重んじる。これには大いに賛成である。言語学習の終着は“use it”(使うこと)であり、英語もその例外ではない。

入門レベルの子供を相手に color(色)のイメージを教える授業があった。ケンブリッジ英語教室では、単純な色一図画対照によって色の英語の単語を覚えさせるのではなく、色の遊びを作りだし、まずは red、yellow、blue の三原色を子供に覚えさせ、それから三原色の組み合わせによってどんな新しい色が生まれるかを見せてから、はじめて新しい色の英語の読み方 red +yellow=orange; red+ blue=purple; yellow +blue=green を教えるのである。そして、一步一步、探険のようなやり方で英語を習いながら知らず知らずのうち thinking skill の習慣も身につくのである。

理論上、子供の学習力と反応力は成長とともに強くなる一方である。ケンブリッジ英語は幼児の段階でさえ、その Thinking skill(考える力)を遊びながら身に付けさせてくれるのだから、後の高いランクの勉強への助力はいう



までもない。さらに言えば Thinking skill の向上は学校でのほかの科目の勉強のためにもなる。子供の発見の目を開かせ、問題解決の能力をのばしてくれるからである。

ケンブリッジ英語の昇格システムはほかよりも一層、長期間計画のものとして完備している。それで学校におけるこどもの英語勉強に対するケンブリッジ英語の助けもまた長期なものになる。普段、保護者たちからの質問に一番多いのは「ケンブリッジ・ヤングラーナーズ英語をマスターできたらその次はどうしよう？」と。

教育現場の教師としては、とてもうれしい質問である。これは親たちが英語の勉強を長期的に考えていることを意味するから。我が国では、英語が第一の外国語になる場合が普通であるから、長期にわたる計画がとても必要である。しかもこれは、語学をコミュニケーションの道具とする目的にも合致するものである。

ケンブリッジ英語の学習システムがとても整備されている。YLE について KET、PET など、ケンブリッジ英語検定はいずれも豊富多彩である。階段式のシステムは幼児、中小学生の英語学習の良いパートナーになるばかりでなく、そのさらに上にある高いレベルの生徒にも大いに役立つ。また学校での英語教育で優秀な成績を収めた生徒をも一層励まし、自己のベストを尽くし、最高の目標にチャレンジするようにさせてくれる。名誉の伴う勉強ができることはいかに子供たちの学校英語勉強を大きく影響しまた助けるのかは目に見えてくるのである。

それに、ケンブリッジ英語の試験システムと学校の英語試験とうまく補足しあうことができる。学校の英語試験はほかの科目と同じく、未達成のものを見出すことに力を入れているから、習得できた英語のレベルはいかがであるかをいかにテストするかということが疎かになりがちである。しかし、YLE はケンブリッジ英語の試験システムの一つとして、こちらでよく使われているのであるが、その最大の特徴は、子供のすでに習得できたもの、その達成度、熟練度をチェックするのであるから、学校英語教育の大いなる手助けになることは言うまでもない。

「ケンブリッジ英語教室を始めてから、うちの子の成績が徐々にだが、着実に上がっている。今までのように、上がったり下がったり、不安定であることはなくなった」と多くの親たちが言っている。その原因は子供たちが上達と熟練とに従って、英語を勉強する自信と関心も高くなってきたのである。これは非常に素晴らしいことである。

語学の勉強は長い道のりであり、それは種をまき、美しい花が咲いてくれるまで普段から丁寧に水をやり手入れをしなければならないのと同様なものである。ケンブリッジ英語のバックアップがあるから、子供たちの英語はますます上達していくものと信じて、一緒に頑張ろうではありませんか。

湖南長沙・領冠教育

2017年3月30日

(中国語 原文)

领冠教育作为湖南省剑桥少儿英语的正规考点及培训点，开放至今，已陆陆续续使用剑桥少儿英语教学及考核体系差不多有大半年的时间。在这大半年的时间过程中，作为一名一线的教务人员，我和我的教学团队清晰地见证了剑桥少儿英语对孩子们英语学习，尤其是校内英语学习的巨大帮助与促进。

剑桥英语的教学素材更加注重 **thinking skill** 的培养，我们是极为赞同这种语言学习侧重的。语言学习的最终归宿是 “**use it**”，英语也不例外。犹记得有一次我们给启蒙阶段的小朋友上 **color** 这个主题，剑桥教材当中并不是简单地以颜色配图片的方式告诉小朋友们各个颜色的英文名称，而是设计了一个最经典的颜色混合游戏：先引导孩子认识 **red yellow blue** 三原色，再进一步启发孩子三原色互相组合可以产生什么新的颜色，最后才是进一步告诉孩子们新的颜色也有自己的英文名字：**red +yellow=orange; red+ blue=purple; yellow +blue=green**。通过这样有逻辑的探索，孩子们在学习英语学习的过程当中不知不觉地就提升了 **thinking skill**。理论上来说，孩子们的学习反馈能力是随着年龄的增长不断增强的。试想一下，如果剑桥英语在幼儿阶段都能如此人性化地帮助孩子提升 **thinking skill**，就更不用说在后续的高级教育阶段了。**Thinking skill** 的提升甚至能够促进孩子在校内其他学科的学习，因为它提升的是孩子们发现问题和解决问题的能力。

剑桥英语的学习晋升体系更加完善和长远，这就使得剑桥英语对孩子们校内英语学习帮助的时间跨度变得更长。在日常的教学过程中，我们被家长问到过的最多的问题就是：剑桥少儿英语学完以后要怎么办？作为一线教师，我们很欣喜能听到家长问出这样的问题，因为这就意味着，家长们开始有意识地将英语学习作为一项长期规划来进行。对于国人而言，英语作为第二语言学习对象，制定长期语言学习规划是十分有必要的，并且这也更有利于凸显英语作为交流工具的特性。剑桥英语的整体学习体系非常完善，**YLE** 之后 **KET**、**PET** 等剑桥通用五级内容精彩纷呈。这种阶梯式的设计，使得剑桥英语不仅能够帮助幼儿启蒙阶段和中小学

阶段的学子，更加能够帮助之后各个学习阶段的孩子；同时，尤其能够刺激那些已经在校内英语教学要求体系内取得优异成绩的孩子们，超越自我，跨越“极限”！我们更加能够清楚的看到，这种学习“荣誉感”的提升对孩子校内英语学习的巨大影响与助力！

剑桥英语的考核体系能够与校内英语考核产生良好的互补。校内英语考核跟其他学科的考核一样，注重“查漏补缺”；这样一来，容易被忽略的一个问题就是，如何检验已经掌握的英语学习内容具体“熟练”到什么程度呢？YLE 作为目前我们主要开展的剑桥英语测试体系组成之一，其最大的特点就是考察孩子们已经会了什么、会到什么程度以及如何提升已会内容的“熟练度”。这无疑对孩子们的校内英语学习有着巨大帮助。很多学员的家长都反应，自从孩子们学习了剑桥英语之后，考试成绩都是“稳中有升”，不会再像以前那样极易处于“过山车”般的不稳定状态。究其原因，最主要的一点就是随着孩子们对已会英语知识的强化和熟练应用，提升了他们对英语学习的自信心与兴趣，这是非常难能可贵的。

语言学习是一个漫长的过程，它就像一粒种子，若想日后开出美丽的花朵，就离不开日常的细心呵护和辛勤浇灌。我们坚信，有了剑桥英语的帮助，孩子们的英语学习一定能够越来越好！让我们一起努力！

**湖南长沙·领冠教育**

**2017年3月30日**